

近畿都市学会報

第168号

2009年7月25日

近畿都市学会

近畿都市学会・連絡先

■ 近畿都市学会事務局

〒631-8502

奈良市山陵町1500

奈良大学文学部地理学教室内

近畿都市学会 事務局

事務局長：酒井高正

> 電話&ファックス：0742-41-9539

> Eメール：info@kintoshi.org

(変更になりました。ご連絡は、なるべくEメールでお願いします。)

> ホームページ：<http://www.kintoshi.org/>

> 会費納入先：ゆうちょ銀行 振替口座

00990-7-86235 近畿都市学会

※他の金融機関からは ゆうちょ銀行 ○九九店 (ゼロ
キウキウ店) 当座 0086235 キンキトシカッツイ

■ 近畿都市学会編集委員会 宛先

(原稿等はすべてこちらにお願いします)

〒530-0001

大阪市北区梅田1-2-2-600

大阪駅前第2ビル6階

大阪市立大学大学院 創造都市研究科内

近畿都市学会 編集委員会

(担当) 副編集長：小長谷一之

> 電話：090-4649-2590

> ファックス：072-721-0064

> eメール：

konagaya@zc4.so-net.ne.jp

1. 2009 (平成21) 年度秋季大会のお知らせ (予定)

2007年度秋季大会は、岸和田市の歴史的市街地で予定しております。

(詳細につきましては、次号(第169号)にてお知らせします)

【日時】2009年11月14日(土) 10:00~19:00 (頃、懇親会) (予定)

【会場】岸和田市・自泉会館 (南海本線「岸和田駅」から徒歩14分、地図は次号)

【プログラム】(案) (時刻等は予定です。最終確定版は次号169号をご覧ください)

10:00~12:00 エクスカーション (歴史的街なみ、だんじり等)

12:00~13:00 昼食休憩

13:00~13:50 市長特別講演 (予定)

14:00~17:00 一般研究発表

17:30~ 懇親会

★ 例年自治体開催である秋季大会は、今回は、南大阪の中心的历史的城郭都市である岸和田市で実施することとなりました。岸和田市には歴史的なちなみである本町地区や有名な地域文化であるだんじりなど古いものが残っております。ふるってご参加下さい。なお、研究報告を希望される方は下記の申し込み手順にしたがって、期日までに手続きをお願いします。

■ 研究報告の募集

① 研究報告の申し込み

→ 報告題目、報告者氏名 (所属と連絡先を必ず明記して下さい) および報告する際の使用希望機器 (原則としてPC用プロジェクターに限る) を明記したものを、**9月11日(金) 必着**で近畿都市学会事務局まで、メール・ファックス・郵送のいずれかの方法でお送り下さい。

②報告要旨の提出

→報告要旨を作成し、**9月18日(金)必着で上記の近畿都市学会編集委員会まで**、メール・郵送（できればテキストファイル）のいずれかの方法でお送り下さい。なお、フォーマットはヨコ40字・タテ38行、10.5ポイント、MS明朝（英数はcentury）とし、図表を含めて、1,200字以内とします。図表は、エクセルや画像の形式で、メールでお送りください。

II. 近畿都市学会2009年度春季大会のご報告

近畿都市学会2009年度春季大会は、2009年6月27日（土）に近畿大学本部キャンパス33号館で開催され、司馬遼太郎記念館館長・上村洋行氏による特別講演『司馬遼太郎と都市』のあと、以下の6の一般発表研究報告、大会参加者約50名による活発な討論がおこなわれ、大学内生協食堂Cafeteria November（11月ホール地下）における懇親会（参加者約20名）もふくめて、盛況のうちに終わりました。

[1]「祭とソーシャル・キャピタル—岸和田祭を中心として—」井上馨（大阪府立大学客員研究員）・山田浩之（京都大学名誉教授）・石田信博（同志社大学教授）

[2]「南京市・紅山街道城中村における農民工の生活空間」楊岩（神戸大学大学院人間発達環境学研究科博士後期課程）

[3]「大阪と奈良における若年者の居住・就業に関する比較研究」稲垣稜（奈良大学文学部地理学科専任講師）

[4]「小地域統計からみた京都市都心2区における人口変化」矢倉正貴（奈良大学大学院文学研究科地理学専攻修士課程）

[5]「大阪府の道路整備水準からみた地域特性について—資本化仮説の観点から—」中村徳三（大阪府立大学大学院経済学研究科博士後期課程）

[6]「都市計画事業における計画決定処分性認定判決の意義と問題点」荒木徹（神戸大学大学院法学研究科（社会人コース））

III. 都市問題・都市政策への入門書・テキストとして好評

近畿都市学会（編集）50周年記念書籍

「**21世紀の都市像—地域を活かすまちづくり**」が
「**会員割引**」になりました！

前号でご連絡しましたが、近畿都市学会50周年記念として刊行された『21世紀の都市像—地域を活かすまちづくり—』（**総頁272頁、古今書院2008年10月刊**）が、政府刊行物新聞、神戸市都市政策研究所『都市政策』などで紹介され、好評となっています。そのため品薄でご迷惑おかけしておりますが、特別に近畿都市学会会員にかぎり、**会員全員2割引価格**となりました。

【会員割引の注文方法】会員は古今書院の担当、原光一氏あてにメールまたはFAXにて直接お申し込みされることにより、**2割引（税込2184円、送料サービス）**にてお求めいただけます。代金は後払いで、本に同封の郵便払込用紙にてお振り込み下さいとのことです。◎注文先メールアドレスは、**hara@kokon.co.jp**

◎注文先FAXは、**03-3233-0303**

いずれの場合も、件名に「近畿都市学会会員注文」と明記の上、本文に必ず、次の4点をご記入ください。

- | |
|------------------------------|
| ①『21世紀の都市像』 |
| ②注文冊数 冊 |
| ③お名前 |
| ④送付先（郵便番号・住所・電話番号） |

Ⅳ. 近畿都市学会・日本都市学会年報事務局（担当近畿）のホームページ・メールのアドレスが変更になります！

◎【近畿都市学会事務局連絡先】

【ホームページ】（「きんとし・どっと・おるぐ」とお覚えください）

<http://www.kintoshi.org/>（従来のURLもアクセス可）

【近畿都市学会総合受付代表メールアドレス】

info@kintoshi.org（従来のアドレスも使用可）

（※電話・住所等は変更ありません）

電話&ファックス：0742-41-9539

〒631-8502

奈良市山陵町1500 奈良大学文学部地理学教室内

近畿都市学会 事務局

事務局長：酒井高正

◎【日本都市学会年報事務局（担当近畿）連絡先】

【ホームページ】

<http://www.kintoshi.org/nenpo/>

【（1）原稿・編集等に関すること】→大阪事務局（担当：小長谷一之）

nenpo1@kintoshi.org

（連絡先）090-4649-2590

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6F

大阪市立大学大学院創造都市研究科都市政策専攻 小長谷一之 宛

【（2）発送・バックナンバー・支払等に関すること】→神戸事務局（担当：山崎健）

nenpo2@kintoshi.org

（連絡先）078-803-7778

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲3-11

神戸大学大学院人間発達環境学研究科人間環境学専攻 山崎研究室 宛

V. 近畿都市学会理事会等のご報告

近畿都市学会2009年度第2回理事会は、2009年7月23日（木）に大阪市立大学文化交流センター談話室（大阪駅前第2ビル6階）で、2009年度秋季大会（岸和田市を予定、担当：綿貫）の準備、『都市研究9号』の編集、新ホームページ・メールアドレス（上記）等について議論しました。

Ⅵ. 日本都市学会第56回大会（名古屋市で開催）

日本都市学会第57回大会（関東で開催）のお知らせ。

日本都市学会第56回大会（2009年度）は、中部都市学会が担当し、2009年10月24日（土）・25日（日）に、名古屋市で「人口減少社会における都市の課題」をテーマに開催する予定です。日本都市学会第57回大会（2010年度）は、関東都市学会が担当する予定です。詳細はホームページで追って連絡してまいります。学会員の皆様はスケジュールの調整をよろしくお願いいたします。くわしくは、日本都市学会ホームページ <http://www.toshigaku.org/> をご覧下さい。

Ⅶ. 日本都市学会 4つの賞を創設！

「学会活性化・若手奨励ワーキンググループ（戸所隆委員長）」の答申案が理事会、総

会で承認されましたので、今後、

- ①日本都市学会・奥井賞
- ②日本都市学会・論文賞（日本都市学会および地域都市学会誌に掲載された、40才未満の若手対象）
- ③日本都市学会特別賞（学術部門）
- ④日本都市学会特別賞（まちづくり部門）

の4つの賞が出されることとなり、現在、来年度よりの施行に向けて準備が進められております（くわしくは、日本都市学会ニューズレター27号に答申案全文を掲載しておりますのでご覧ください）。

なお、2009・10年度、事務局体制は以下のように変更となりました。本部事務局：近畿→関東、年報編集事務局：中部→近畿、論文審査事務局：東北→中四国、学会賞事務局：九州→東北。くわしくは日本都市学会ホームページ <http://www.toshigaku.org/> をご覧ください。

Ⅷ. 他地域学会開催の大会・研究集会等における研究発表について

学会改革の方針により地域学会開催の大会・研究集会等における研究発表が可能になりました。日本都市学会会員のみです（近畿のみ（学生）会員は対象になりません）。詳しくは近畿都市学会ホームページ <http://www.kintoshi.org/> をご覧ください。

Ⅸ. 事務局より（会員異動）

<新入会員>【普通会員】◎今田彰（大阪市立大学大学院創造都市研究科院生、株式会社コンタクス）専門分野：健康・医療産業創造都市論

【普通会員】◎武田至弘（大阪市立大学大学院創造都市研究科博士後期課程院生、近畿経済産業局）専門分野：都市産業政策論

【学生会員】◎八木隆一郎（大阪府立大学経済学研究科博士後期課程院生、都築電気株式会社）専門分野：経済学（応用・実証経済）

<退会> 伊富貴順一、山中拓真

Ⅹ. 2009年度総会報告

春季大会において、2009年度役員、2008年度決算、2009年度予算が以下の通りに承認されました（決算は後日監査による確認あり）。

■2009年度役員（原則として2008年度より留任、アイウエオ順）

（会長）實清隆

（理事）編集：綿貫伸一郎（委員長）、小長谷一之、佐々木雅幸

集会：山崎健（委員長）、久隆浩

庶務：酒井高正（事務局長）、碓井照子

（評議員）井出光、内田敬、香川貴志、加藤一誠、加藤恵正、金坂清則、佐藤彰男、関根秀和、醍醐昌英、高山正樹、淡野明彦、寺本光雄、徳岡一幸、長尾謙吉、中川万喜子、鳴海邦碩、藤井正、前川知史、増田昇、三輪康一、文世一、安田孝、安田丑作、山田誠、山田浩之

（監査）野口隆、山本剛郎

（幹事）井垣貴子、上田恵美子、後藤暁夫、佐野光彦、中西久雄、松原光也

（事務局）奈良大学地理学教室（酒井高正研究室）

（日本都市学会理事）高山正樹、久隆浩（以上支部選出理事）、實清隆（以上支部会長理事）

（日本都市学会常任理事＝今期より年報事務局担当）小長谷一之、山崎健

■近畿都市学会2008年(平成20年)度決算 (2008年5月1日~2009年4月30日)

収入の部	予算額	決算額	備考
会費	1,200,000	1,120,000	
寄付・その他	200	35,836	銀行金利、懇親会余剰金、「都市研究」売上げ
前年度繰越金	712,643	712,643	
計	1,912,843	1,868,479	

支出の部	予算額	決算額	備考
日本都市学会費	540,000	504,000	2008年度分126口(85%)
大会運営費	200,000	290,559	
会議費	10,000	2,400	理事会など
印刷費	400,000	284,819	「都市研究」7号、会報第163~165号
人件費	40,000	10,000	
通信費	120,000	90,630	
運搬交通費	20,000	0	
消耗品費	50,000	16,558	
雑費	10,000	2,100	
予備費	522,843	114,150	創立50周年記念事業(『21世紀の都市像』買取)
次年度繰越金	0	553,263	
計	1,912,843	1,868,479	

上記の通り報告いたします。
会計担当理事

酒井 高正

酒井 高正

伝票、帳簿等正確と認めます。
監査

山本 剛郎

山本 剛郎
野口 隆

野口 隆

■近畿都市学会2009年(平成21年)度予算 (2009年5月1日~2010年4月30日)

収入の部	予算額	前年度比	備考
会費	1,200,000	0	
寄付・その他	200	0	銀行金利など
前年度繰越金	552,263	-159,380	
計	1,753,463	-159,380	

支出の部	予算額	前年度比	備考
日本都市学会費	540,000	0	年報43号(2009年度版)
大会運営費	350,000	0	
会議費	10,000	0	理事会など
印刷費	430,000	30,000	会報各号、「都市研究」8号
人件費	40,000	0	
通信費	100,000	-20,000	
運搬交通費	100,000	80,000	日本都市学会理事会(本年度より東京で)
消耗品	50,000	0	
雑費	10,000	0	
予備費	273,463	-249,380	創立50周年記念事業関連費用を含む
計	1,753,463	-159,380	

=====
■会員募集について 近畿都市学会は、①学際的・実践的な都市研究の推進、②多分野の研究者相互や研究者と自治体の連携の強化、③それらを踏まえた都市学の確立を目的に活動をしてはいますが、より活発な学会活動のために新入会員を随時、募集しております。みなさまのお知り合いの方で、本学会の目的および事業にご賛同頂ける方がおられましたら、是非、本学会へのご入会をおすすめ下さいますようお願いいたします。なお、本号の裏表紙にある「近畿都市学会入会のおすすめ」を必要に応じてコピーして頂き、お使い下さい。

